

## ATP + AMP ふき取り検査を用いた感染管理対策と手術用器材の洗浄評価 ～「汚れの可視化」により病棟・中央材料室の洗浄マニュアルを改善～



医療編

淀川キリスト教病院（大阪府）

国内では近年、ロボット手術システムの導入・稼働が加速している。大阪市東淀川区の淀川キリスト教病院もそうした病院の一つで、2013年に「da Vinci Si（ダヴィンチ Si）」（インテュイティブサージカル社製）を導入し、現在のところ泌尿器科の手術において使用している。その一方、巧妙な動きが可能なロボット鉗子（エンドリスト・インストゥルメント、以下エンドリスト）は、その構造がきわめて複雑かつ精密であるため、洗浄・滅菌が非常に困難である。また、現時点では洗浄後に「きちんと洗浄がなされたか？」を評価する手法が確立されていない。

そこで、淀川キリスト教病院では、エンドリストの洗浄後の清浄度評価にATPふき取り検査を活用している。また、エンドリストの洗浄手順の見直しの際にも、ATPふき取り検査のデータを活用している。本稿では、エンドリストの清浄度確認ツール、および同院の環境衛生ツールとしてのATPふき取り検査の活用事例について紹介する。